

GN209FS-P フルオート/セミオート光センサーバグキー 取扱説明書

R2019.02.26

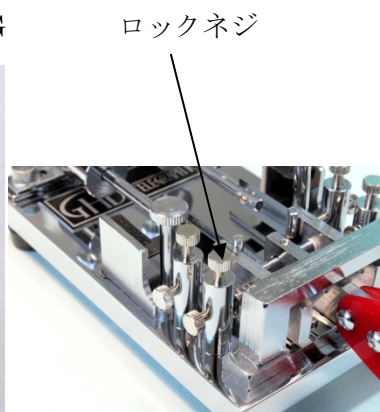
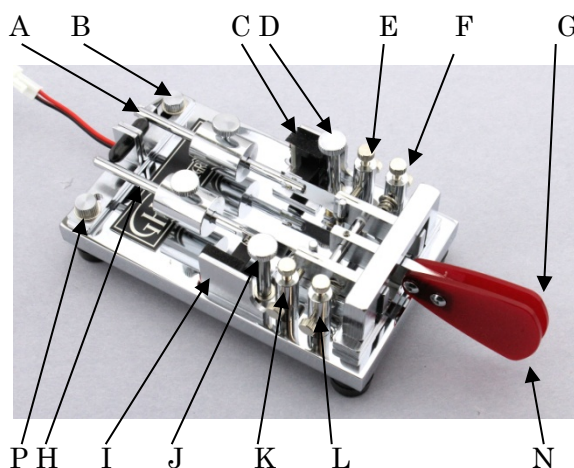
この度は GN209FS-P フルオート/セミオート光センサーバグキーのお買い上げ誠に有難う御座いました

特徴

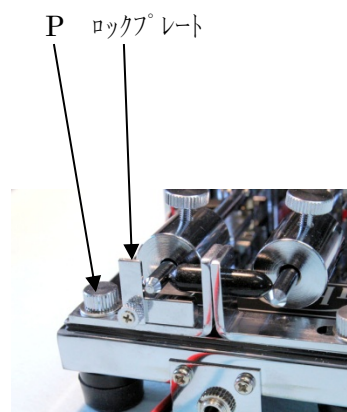
- ・フルオートバグキーとしては小型で音も静かです、ロックプレートを掛けるとセミオートバグキーになります
- ・ヘアピン接点がありませんのでチャタリングの無い綺麗な短点、長点符号が長く出せます

調整手順

- ① バグキーが置かれた机等が水平になっている事を確認します
- ② 付属コードの赤に 13.8V のプラスを 黒を電源のアースにつなぎます、電源はリグの電源と共用可です、電流は約 20mA です(電圧は約 12V から 14V 位まで OK ですが リップルが無い事)
- ③ ツマミと錘を写真の様に取付ます (ツマミの面取りをして有る側をお互いの外側にします)
(錘を取り付ける時は シリコンゴムの付いた L 型の左右 2 個の振り止め金具を一旦後ろに動かします)
- ④ 右側のメカが長点になります、シャフト A と振止めのシリコンゴムが軽く触れるようにネジ B で調整します
- ⑤ ツマミ G を右から左に押した時にツマミの先端(体に近い方)が 2~3 ミリ動くようにネジ E を合わせます
- ⑥ この時のバネ圧をネジ F で合わせます
- ⑦ スペースと長点の比率が約 1:3 になるようにネジ D を一旦 緩め光センサーのフレーム C の位置を調整しネジ D で固定します
- ⑧ 左側のメカが短点になります、ツマミ N を左から右に押したときツマミの先端(体に近い方)が 1~2 ミリ動くようにネジ K を合わせます、ネジ P で短点シャフトとシリコンゴムが軽く触れるように合わせます、この時のバネ圧をネジ L で合わせます
- ⑨ ツマミ N を右に押しますとシャフト H に取り付けられた錘が左右に振れますがその動きが終息した時 ネジ J を一旦緩め 短点用光センサーフレーム I の位置を調整し 符号が出るギリギリの位置にし ネジ J で固定します、再度ネジ K で微調整をします、短点側のバネ圧をネジ L で合わせます



各調整が終わりましたら
各調整ネジのロックネジを絞めます



ロックプレートを掛けるとセミオート
になります、ネジ P を緩め右へ
3 ミリ程振り止めを動かします

ご注意

長点側の板バネは構造上薄く柔らかく出来ています、錘の取付けや錘の位置調整時は、余り力を入れずに優しく取り扱ってください、ツマミを操作するときは指の腹で優しくツマミを押すように操作してください、力を入れすぎると錘が動く前に符号が出てしまい良い符号が出ません、落ち着いてゆっくりと操作してください。

株式会社GHDキー

981-3326 宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

022-779-0681

www.ghdkey.com